

# 中小企業景気動向調査結果

(2021年7月～9月期)

上毛町商工会

このレポートは、福岡ひびき信用金庫が四半期ごとに発表する「ひびしん中小企業景気動向調査結果」を上毛町商工会が簡易に取りまとめたものです。

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計	回答率%
調査対象企業数	62	34	55	36	48	31	266	100.0
回答企業	62	34	55	36	48	31	266	

## 景況天気図

・前期：2021年4～6月期 ・今期：2021年7～9月期 ・見通し：2021年10～12月期

良い ← → 悪い

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
前期							
今期							
見通し							

(この天気図は調査結果から総合的に判断して作成しました)

## 業種別業況(今期と前期の比較)

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
業況							
売上額							
収益							
雇用							
	プラス 20以上	プラス 10以上20未満	プラス 10未満	プラス マイナス0	マイナス 10未満	マイナス 10以上20未満	マイナス 20以上

**総合：** 今期業況は、全体では△29.8 ㊦と前期からやや悪化。売上額は前期比±0 ㊦、収益は前期比+0.4 ㊦と横ばい傾向だが、緊急事態宣言の発令・延期による売上減少に加え、原材料・燃料価格上昇の影響もあり、多くの業種で業況は悪化。

来期予想は、宣言解除の見通しもあり、業況は今期比+6.4 ㊦と改善を見込む。

**製造業：** 売上は、前期比△9.5 ㊦と悪化傾向。来期業況予想は、今期比+9.7 ㊦とコロナ禍の影響が改善され、売上上昇による業況回復の見通し。

**卸売業：** 売上は、前期比±0 ㊦と横ばい。収益は、仕入価格の高止まりあり前期比△17.6 ㊦と悪化。業況についても前期比△5.9 ㊦と悪化傾向が続いている。来期予想は、コロナ禍の沈静化見通しで、今期比+17.6 ㊦と業況回復を見込む。

**小売業：** 売上は、前期比+7.3 ㊦と改善。収益も前期比+9.1 ㊦と改善した。しかし、コロナ禍での厳しい状況は続いており、業況は前期比△3.6 ㊦と悪化傾向。来期予想は、緊急事態宣言の解除を見込み、業況は、今期比 14.5 ㊦と回復見通し。

**サービス業：** 業況は、前期比△11.1 ㊦と全業種中で最も業況指数が悪化している。売上は、前期比△8.3 ㊦と悪化、収益も、前期比△11.1 ㊦と悪化し、来期予想も、前期比±0 ㊦と業況の早期回復は厳しい見通し。

**建設業：** 建設業はコロナ禍の影響が他業種と比較して少なく、業況は、前期比0.0 ㊦と横ばい傾向。収益は、材料価格値上げもあり悪化傾向。雇用面での人手不足感も根強い。来期予想は、今期比△1.9 ㊦と業況低下傾向。

不動産業： 業況は、前期比+3.2 ㊦と回復傾向。売上は、前期比+12.9 ㊦、収益は前期比+19.4 ㊦と改善。雇用面では残業時間は減少、人手も充足を示した。これは、他業界より在宅勤務やIT化など、働き方改革が進んだためかと思われる。

地域別天気図 <信金中央金庫「中小企業景況レポート 2021.7~9 月期」を転用>

【地域別天気図（今期分）】

地域 業種名	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州北部	南九州
総合											
製造業											
卸売業											
小売業											
サービス業											
建設業											
不動産業											

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調

特別調査：「中小企業の雇用環境について」

Q1： 貴社では、人手の状況をどのように認識していますか。人手が不足している場合と、人手が過剰な場合について、それぞれ過不足のある職域をお答えください。

回答：・適正 (60.5%) ・現場作業関係、不足 (20.3%) ・営業・販売関係、不足 (12.5%)  
 ・経理・財務・管理関係、不足 (4.4%) ・現場作業関係、過剰 (0.7%) ・その他の職種、不足 (0.5%)  
 ・経理・財務・管理関係、過剰 (0.5%) ・営業・販売関係、過剰 (0.3%)

Q2： 政府はこれまで、2020年を除き、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました。最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。①正規社員への影響と、②非正規社員への影響、についてお答えください

回答： ①正規社員について・変わらない (75.4%) ・わからない (13.3%) ・もともと正規社員はいない (6.0%) ・増やす (4.7%) ・減らす (0.3%)

②非正規社員について・変わらない (57.1%) ・もともと非正規社員はいない (22.8%) ・わからない (12.8%) ・増やす (5.7%) ・減らす (1.4%)

Q3： 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。最大3つまで選んでお答えください。

回答：・特にない (43.3%) ・人材育成 (27.2%) ・長時間労働の是正 (16.1%) ・女性、若者が活躍しやすい環境整備 (14.2%) ・賃金引上げと労働生産性の向上 (12.4%) ・テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方 (6.3%) ・病気の治療、子育て・介護と仕事の両立 (5.2%) ・高齢者の就業促進 (3.2%) ・同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善 (3.0%) ・外国人等多様な人材の受入れ (2.6%)

**Q 4 :** 人材確保が難しくなるなか、貴社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。最大3つまでお答え下さい。

**回答 :** ・特にない (42.7%) ・働きやすい環境や制度の整備 (28.4%) ・人材育成の実施 (20.8%) ・業務プロセスの改善 (10.4%) ・機械設備の導入 (10.1%) ・業務の外注 (7.4%)  
・ I T 投資の実施 (4.9%) ・高付加価値業務への集中・転換、単価の引上げ (2.0%)  
・企業間連携による業務の共同化等 (1.7%) ・M&Aなどの事業再編による規模の拡大 (同 1.7%)

**Q 5 :** 貴社では、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。

**回答 :** ・補助金・助成金の紹介 (53.7%) ・特に求めている (33.3%) ・人材の紹介派遣 (16.5%) ・他企業の先進事例紹介 (7.9%) ・人材マッチングサービスの活用 (5.4%)  
・福利厚生サービス等の利用提案 (3.3%) ・取引先金融機関の人材を派遣 (3.1%)  
・採用にかかる情報提供 (3.0%) ・従業員研修の実施 (2.3%) ・社労士等の専門家紹介 (1.5%)

(「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」より、抜粋しました。)